

I 組織の使命

戸井支所は、管内人口の約半数を65歳以上が占めることから、地域の方々がやさしさと幸せに包まれ、いつまでも元気に安心して暮らすことができるよう、地域ニーズを的確に捉え市民福祉サービスを提供するほか、住民自治活動の活性化支援を行います。

また、養殖コンブ、マグロなどの水産資源や武井（むい）の島などの特色ある自然環境を活かした産業の振興に努めるほか、災害に備えた体制づくりや環境整備を進めます。

これらの取組を通じて、地域住民が互いに支え合い、活力にあふれ、笑顔で暮らせる地域の実現を使命とします。

II 組織の基本方針

互いに支え合い、活力にあふれ、笑顔で暮らせる地域を実現します。

- 人口減少・高齢化に対応した地域福祉の推進
- 地域を支える産業の振興
- 安心・安全なまちづくりの推進

III 年度評価 総評

戸井支所は、地域住民が互いに支え合い、活力にあふれ、笑顔で暮らせる地域の実現を図ることを使命としており、基本方針に基づく各種施策に取り組み、概ね所期の目的は達成できたものと考えております。

人口減少・高齢化に対応した地域福祉の推進を図るため、来庁者のニーズを把握した丁寧な窓口対応はもとより、町会活動への支援・協力、民生児童委員活動や交通安全関係団体の活動支援を行うことにより、各種地域活動の活性化に取り組みました。

地域を支える産業の振興のため、漁業を取り巻く厳しい環境の下、漁協や北海道、関係部局と連携しながら、コンブの育成や成熟誘導、ウニやナマコなどの種苗生産、ヒラメなどの稚魚放流支援を行いました。

また、東部4支所管内のガイドマップである函館イーストエリアガイドを各施設に配布し、東部地域のPR活動を継続的に進めたほか、戸井地区に伝わる民話「ムイとアワビの合戦」のアニメ化による地域の魅力発信を行いました。

安心・安全なまちづくりの推進のため、災害時に備え、指定避難所等に配置している資機材の使用方法などの確認作業を行ったほか、戸井学園において7年生を対象に防災無線の仕組みや備蓄品の使用方法などの説明を行い、防災に関する意識向上に取り組みました。

区 分	担当課	評価	評価の説明
1 人口減少・高齢化に対応した地域福祉の推進			
(1) くらしを支える市民福祉サービスの充実			
・戸籍や市税，介護保険や児童手当などの幅広い市民福祉サービスを来庁者のニーズに合わせ，笑顔で丁寧にわかりやすく説明するよう心がけるとともに，地域の高齢者等の見守りや外出支援に取り組みます。	市民福祉課	B	・幅広い市民福祉サービスについて，来庁者のニーズを正確に把握し，丁寧な窓口対応に努めたほか，地域の高齢者等への訪問支援や外出支援など在宅生活の支援を行った。
(2) 住民自治活動の活性化支援			
・住み慣れた地域で安心して生活し続けられるよう，町会活動や民生児童委員活動，交通安全の推進など，各種地域活動の活性化を支援します。	市民福祉課 地域振興課	B	・町会活動への支援・協力を行ったほか，町会長との懇談会を通じ，地域課題の把握・解決に努めた。 ・民生児童委員活動や交通安全関係団体の活動を支援し，各種地域活動の活性化や地域住民の安全な生活づくりの推進に努めた。
(3) 地域課題の把握と解決に向けた取り組み			
・地域と市政をつなぐ窓口として，戸井地域におけるニーズや課題の把握に努めるとともに，町会など関係団体，関係機関と連携し課題解決に努めます。	地域振興課	B	・町会長との懇談会などを通じ，市政の情報発信や地域課題の把握に努めたほか，東部地域まちづくり懇談会において地域活性化に係る意見交換を行った。
2 地域を支える産業の振興			
(1) 活力ある水産業の振興			
・コンブ，ウニ，タコなどの豊かな水産資源を背景とした沿岸漁業や，全国的にも有名なマグロ延縄漁業など地域の基幹産業である水産業を振興するため，漁港・漁場の整備を関係機関と連携して促進するほか，養殖コンブやナマコの種苗生産支援，ヒラメやクロソイの稚魚放流支援などの資源増大対策に取り組みます。	産業建設課	B	・漁業を取り巻く環境は厳しい状況にあるが，漁協や北海道，関係部局と連携しながら，漁港・漁場の整備やコンブの育成・成熟誘導，ウニやナマコの種苗生産，ヒラメやクロソイの稚魚放流支援を行った。
(2) 観光の振興			
・北海道本州最短の地や武井の島を一望できる「戸井憩いの丘公園」など，地域の観光資源について関係部局と連携してPRするなど観光振興に取り組みます。	産業建設課	B	・函館イーストエリアガイドを各施設へ配布し，東部地域のPR活動を継続して行ったほか，戸井地区にある武井の島の伝説を題材にした「ムイとアワビの合戦」のアニメ化への協力など，観光資源のPRに繋げた。

区 分	担当課	評価	評価の説明
3 安心・安全な地域づくりの推進			
(1) 防災体制の強化			
・ Jアラート（全国瞬時警報システム）を含む防災行政無線の適正運用を行うとともに，適時適切な情報提供および避難行動の確認等，防災体制の強化を図ります。	地域振興課	B	・ 防災無線親局の設備が使用できなかった場合を想定した可搬式防災無線の試験放送を行ったほか，災害時に備え資機材や備蓄品の保管場所，使用方法を職員間で確認した。 ・ 防災教育の一環として防災無線の仕組みや防災備蓄品の使用方法などについて，戸井学園生を対象に説明会を開催した。
(2) 災害予防対策の推進			
・ 災害予防対策としての治山事業および急傾斜地崩壊対策事業について，関係部局と連携し北海道への要請活動に取り組むとともに，事業実施に伴う地域との調整を図ります。	産業建設課	B	・ 北海道による治山事業について，要望どおり事業が実施された。 ・ 急傾斜地崩壊対策事業についても，引き続き北海道へ要望を行った。
(3) 快適な生活環境の確保			
・ 日常生活や産業活動の基盤となる幹線道路や生活道路の整備について，関係部局への要請や協力，事業実施に伴う地域との調整を図るとともに，状況に応じた適切な維持管理を行います。	産業建設課	B	・ 市道の補修については，問題箇所が判明次第，迅速に対応した。 ・ 冬期間の市道除雪についても，通行に支障がないよう対応したほか，凍結路面对策として，凍結防止剤を各箇所へ配布し，地域住民の協力を得て散布を行った。